

第4学年国語科学習指導案

4年2組 指導者 五十部大暁

単元 段落のつながりを考えよう「動いて、考えて、また動く」

1 本単元でめざす子どもの姿について

対象と向き合う子どもの姿【対】	自己と向き合う子どもの姿【自】	他者と向き合う子どもの姿【他】
○文章構成や段落の役割についての問いをもち、教材文を繰り返し読んでいます。	○段落相互の関係について、自分の考えの深まりを自覚している。	○文章構成や段落の役割についての問いを追究するために、仲間と話し合っている。

2 めざす子どもの姿を実現するために

本学級の子どもたちは、前教材「大きな力を出す」において、双括型の文章構成や読み手を想定した事例など、説明文の仕組みを考える学習に取り組んだ。このような子どもたちが、文章構成や段落の役割についての問いをもち、教材文を繰り返し読んで追究する学習に取り組む。このことは、説明文の仕組みのよさをより強く実感し、今後の表現に活用していこうとする態度を育成することにつながるであろう。

本単元は、文章構成や段落の役割について話し合い、考えと事例など段落相互の関係について自分の考えをまとめる学習である。本教材「動いて、考えて、また動く」は、筆者の考えである「まず動く、そして考える」ことの大切さを、筆者の陸上選手やコーチとしての経験を事例として説明している文章である。子どもたちは、これまで学習した教材文と比較したり、自分の学習経験を想起したりしながら文章構成や段落の役割について考えていくであろう。その際、筆者の視点に立つことを大切にしたい。そうすることで、筆者の意図を汲み取りながら段落相互の関係について、自分の考えを深めていくことができるであろう。

そこで、以下のような支援を具体化し、本単元でめざす子どもの姿の実現を図る。

- 文章構成や段落の役割について考える際には、筆者の視点に立つよう促す。そうすることで、筆者の意図を汲み取りながら段落相互の関係を考えることができるようにする。【対】
- 文章構成や段落の役割について発言した際には、その理由と叙述を問う。そうすることで、自分と仲間の考えの共通点や相違点を捉え、よさに気付くことができるようにする。【他】
- 毎時間の終末には、自分の考えの変化を視点に学習を振り返るよう促す。そうすることで、段落相互の関係についての考えの深まりを自覚することができるようにする。【自】

3 本単元の目標

- 文章構成や段落の役割について話し合い、段落相互の関係について自分の考えをまとめることができるようにする。
- 説明文の仕組みのよさを捉え、今後の表現に活用しようとするようにする。

4 本単元における評価規準

知識・技能（知）	思考・判断・表現（思）	主体的に取り組む態度（態）
○段落相互の関係を考えながら教材文を読んでいる。	○教材文を読み、段落相互の関係について自分の考えをまとめている。	○段落相互の関係について進んで考えようとしている。

5 指導計画（全6時間）

第1次 「動いて、考えて、また動く」を読み、学習の見通しをもつ。（1時間）

第2次 文章構成や段落の役割について話し合う。（3時間）【本時2／3】

第3次 段落相互の関係について自分の考えを文章にまとめ、交流する。（2時間）

6 本時案 【令和元年 7月2日 10:25~11:10 4年2組教室】

- (1) ねらい 筆者が4・5段落を書いた意図について話し合うことをとおして、筆者の考えと事例の関係について考えることができるようにする。
- (2) 学習過程※下線は3つの向き合う姿が表れている子どもの意識

学習活動・学習内容	子どもの意識	○教師の支援
<p>1 4・5段落があるよさについて話し合う。(35分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・筆者の考えと事例の整合性 ・筆者の考えを支える事例の役割 	<p>・高野さんの説明した走り方を実際にやってみただけど、よく分からなかったよ。</p> <p>・「忍者がびたあっと下り坂をかけ下りていくようなイメージ」ってどんなのだろう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>分かりにくいという人もいたけれど、高野さんはなぜ4・5段落を書いたのかな。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>高野さんはなぜ4・5段落を書いたのだろう</p> </div> <p>・4・5段落は走り方について書いてあるよ。</p> <p>A 高野さんは走り方を伝えたかったのではないのかな。</p> <p>・でも、高野さんはこの文章で走り方の説明がしたかったのかな。</p> <p>B 高野さんが伝えたかったことは、「まず動く、そして考える」ことが大切だということだよ。</p> <p>・<u>そうだね、これを伝えるために4・5段落を書いたのだね。</u>【他】</p> <p>・4段落に「考えて分かった」と書いてあるよ。</p> <p>・5段落には「発見をしました」とあるね。</p> <p>A <u>4・5段落は「考える」を書いたのだね。</u>【対】</p> <p>・あ、「動く」は3段落に書かれていたよ。</p>	<p>○筆者が4・5段落を書いた意図を問う。そうすることで、筆者の意図を汲み取りながら段落相互の関係について考えることができるようにする。【対】</p> <p>○段落の役割について発言した際には、その理由と叙述を問う。そうすることで、自分と仲間の考えの共通点や相違点を捉え、よさに気付くことができるようにする。【他】</p>
<p>2 本時の振り返りを書く。(10分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・段落相互の関係 ・自分の考えの深まり 	<p>・自分の考えとつなげて説明を書くことが大切なのだね。</p> <p>A <u>最初は何で書いたのだろうと思ったけど、4・5段落は高野さんの考えを説明するためにあることが分かったよ。</u>【自】</p> <p>・文章を書くときにも、自分の考えとつなげて説明を書くことで読む人に理解してもらえるのだね。</p>	<p>○考えの変化を視点に振り返るよう促すことで、段落相互の関係についての考えの深まりを自覚することができるようにする。【自】</p>

(3) 板書計画



